

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 3 区分
【発行日】 令和 6 年 4 月 15 日 (2024.4.15)

【国際公開番号】 WO2023/136103
【出願番号】 特願 2023-573955 (P2023-573955)
【国際特許分類】

B 2 6 F 3/00 (2006.01)
H 0 5 K 3/00 (2006.01)

【F I】

B 2 6 F 3/00 A
H 0 5 K 3/00 L
H 0 5 K 3/00 X

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 1 月 18 日 (2024.1.18)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

第 1 分割線を有する基板を分割するための基板分割治具であって、
第 1 方向において隣り合って配置されている第 1 ベースプレート及び第 2 ベースプレート
を有するベースプレートユニットと、
第 1 基板押えユニット及び第 2 基板押えユニットとを備え、
前記第 1 ベースプレートと前記第 2 ベースプレートとの境界である第 1 境界は、前記第
1 方向に直交する第 2 方向に沿っており、
前記第 1 ベースプレートは、第 1 面と、前記第 1 面の反対面である第 2 面とを含み、
前記第 2 ベースプレートは、第 3 面と、前記第 3 面の反対面である第 4 面とを含み、
前記第 1 面上及び前記第 3 面上には、前記第 1 分割線が前記第 1 境界と対向するように
前記基板が配置され、
前記第 1 ベースプレートは、前記第 2 方向に沿う第 1 回転軸回りに回転可能に前記第 2
ベースプレートに連結されており、
前記第 1 基板押えユニット及び前記第 2 基板押えユニットは、それぞれ、前記第 1 面及
び前記第 3 面との間に前記基板を挟持し、
前記第 1 面及び前記第 2 面には、それぞれ、第 1 凹部及び第 2 凹部が形成されており、
前記第 1 凹部の底面及び前記第 2 凹部の底面上には、前記基板が配置され、
前記第 1 凹部の底面及び前記第 2 凹部の底面には、それぞれ、第 3 凹部及び第 4 凹部が形
成されており、
前記第 3 凹部内及び前記第 4 凹部内には、それぞれ、前記基板上に搭載されている第 1 部
品及び第 2 部品が配置され、
前記第 1 基板押えユニットは、第 1 天板プレートと、前記第 1 天板プレートに取り付けら
れており、かつ前記基板に接触する第 1 ピンとを有し、
前記第 2 基板押えユニットは、第 2 天板プレートと、前記第 2 天板プレートに取り付けら
れており、かつ前記基板に接触する第 2 ピンとを有し、
前記第 1 ピン及び前記第 2 ピンは、それぞれ、前記第 1 基板押えユニット及び前記第 2 基
板押えユニットが前記基板を挟持している際に前記第 3 凹部及び前記第 4 凹部を避けるよ
うに配置されている、基板分割治具。

30

40

50

【請求項 2】

前記基板は、前記第 1 分割線に直交する第 2 分割線を有し、
前記第 1 ベースプレートは、第 1 部分と、第 2 部分とを有し、
前記第 2 ベースプレートは、第 3 部分と、第 4 部分とを有し、
前記第 1 部分及び前記第 3 部分は、前記第 1 方向において隣り合って配置されており、
前記第 2 部分及び前記第 4 部分は、前記第 1 方向において隣り合って配置されており、
前記第 1 部分と前記第 2 部分との境界である第 2 境界は、前記第 1 方向に沿っており、
前記第 3 部分と前記第 4 部分との境界である第 3 境界は、前記第 1 方向に沿っており、
かつ前記第 2 境界の延長線上にあり、
前記第 1 部分は、前記第 1 方向に沿う第 2 回転軸回りに回転可能に前記第 2 部分に連結
されており、
前記第 3 部分は、前記第 2 回転軸回りに回転可能に前記第 4 部分に連結されており、
前記第 1 面上及び前記第 2 面上には、前記第 2 分割線が前記第 2 境界及び前記第 3 境界
に対向するように前記基板が配置される、請求項 1 に記載の基板分割治具。

10

20

30

40

50